

高田 和子

S A N G E N

S P A C E

v o l . 3

闌 声 (らんじょう)

光と影のコラボレーション

音楽の在り方からコンサートの形式まで
新しい試みを提案し伝統楽器の可能性を
模索してきた三絃 (=三味線) 奏者
高田和子による音楽シリーズ第3弾

京都芸術劇場 〈春秋座〉

2004年 11月14日(日)

開演15:00 開場14:30

企画・構成・出演

高田和子 (三絃・歌)

ゲスト

米川裕枝 (箏・歌)

藤原道山 (尺八)

岩村原太 (照明)

寺嶋陸也 「夕やけぐるみの歌」

詩:石原吉郎 構成:遠藤琢郎

八橋検校 「乱輪舌」

港大尋 「ネグレチユード」(委嘱・初演)

高橋悠治 「瞬庵」—勅使河原宏の追憶に—

石井眞木 三絃と声のための「エピソードII」
—宿業(カルマ)の淵— (1994) Op.103

間宮芳生 「あゆ川の」—田歌—

料金

一般 前売 2,500円 当日 3,000円

学生・25歳以下 前売 2,000円 当日 2,500円

主催

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

tel. 075-791-9437 fax 075-791-9438

e-mail info@k-pac.org url <http://www.k-pac.org/>

高田和子

S A N G E N

S P A C E

v o l . 3

闌声 (らんじょう)

光と影のコラボレーション

音楽の在り方からコンサートの形式まで新しい試みを提案し伝統楽器の可能性を模索してきた三絃 (=三味線) 奏者 高田和子による音楽シリーズ第3弾

コンサートシリーズ「闌声」に寄せて 一柳 慧 (作曲家)

このコンサートは、二人の拓かれた感性と卓越した技術をもつ演奏家の相互交流によって、古典と現代に分業化された状況の中で力を失ないつつある伝統音楽を活性化し、その演奏に新しい場の創造を確立しようと意図されたものです。洋楽優先をうたい続けるわが国にあって、伝統音楽や伝統楽器に対するこのような今日的な視点からの見直しは、大きな意義をもつものと思われます。細心の配慮で構成されたプログラムは二人の精神を見事に投影しており、音楽的成功と共に閉塞した状況の打破に向けてその成果が期待されます。

< 闌声 vol.1 プログラムより >

「闌声」とは、人間国宝・米川敏子の後継者であり、正統派古典演奏の第一人者である米川裕枝と、独自の視点で現代を捉え、意欲的な創作活動を続ける高田和子の2人によって1996年よりスタートし、5回公演を行なったシリーズ。タイトルは「技にたけた者が型を破る自在な境地」を指します。

今回はシリーズで話題を呼んだ「瞬庵」- 勅使河原宏の追憶に - (勅使河原制作・竹の茶室「瞬庵」の映像前で演奏) の再演を軸に、プログラムを構成。「瞬庵」では、米川氏所蔵の江戸時代の箏 (螺鈿と蒔絵細工による美術品) を使用します。また若手実力派の尺八奏者として注目を浴びる藤原道山が、高橋悠治や港大尋の曲で共演。さらに照明家・岩村原太が全プログラムを通じ、古典から現代の曲まで、独自の照明をデザインします。



高田和子 (三絃・歌)

箏を中能島欣一と谷珠美に、三絃を柁屋正邦に師事。NHK邦楽技能者育成会18期首席修了。東京芸術大学大学院修了後、1983年より三絃リサイタルを重ねる。93年岩城宏之指揮によるオーケストラ・アンサンブル金沢と、高橋悠治作曲三絃弾きうたいとオーケストラのための「鳥も使いか」を初演。海外でのソロ公演も多数。99年和楽器プロジェクト「糸」を結成、代表となる。2000年東京芸術大学非常勤講師をつとめる。最近ではアジアのダンサーとのコラボレーション、ジャズや即興系プレーヤーとの共演など、現代音楽の枠を越え、三絃と歌の可能性を追求している。



米川裕枝 (箏・歌)

1950年東京に生まれ、3歳より、母、米川敏子 (文化功労者・人間国宝) に地歌・箏曲の手ほどきを受ける。1973年NHK邦楽技能者育成会18期卒業。1989年から国際交流基金の自主派遣により、欧州12ヶ国にて演奏。1994年クラクフ交響楽団、ブリュッセル音楽院管弦楽団と共演。1995年芸術選奨文部大臣新人賞受賞。1996年文化庁芸術祭優秀賞受賞。1998年ビクター伝統文化振興財団奨励賞受賞。2001年東京都交響楽団と共演。2004年エクソンモービル音楽賞受賞。現在、研学会副会長、(社)日本三曲協会理事、くらしき作陽大学特任教授。



藤原道山 (尺八)

「和楽器の貴公子」と言われ好評を博している尺八奏者。10歳より尺八を始め、人間国宝山本邦山に師事。東京芸術大学音楽学部邦楽科卒業、同大学院音楽研究科終了。在学中には安宅賞受賞、御前演奏を務める。最新アルバム『空-ku-』<千住明プロデュース>の他これまでアルバム3枚を発表。様々な可能性を求め、箏、ピアノ、その他様々な楽器とのコラボレートを積極的に行うなどソロ以外でも活躍。更に2002年にはさいたまスーパーアリーナで行われた「ジョン・レノン スーパー・ライヴ」で、坂本龍一氏のチームに参加と幅広く活躍。既存の尺八イメージを変える自由な発想でジャンルを超えた音楽活動を展開中。

岩村原太 (照明)

舞台照明デザイン「G. Lighting W. office」主宰。演劇・舞踊等の照明美術を計画設計、スタッフ講座やライティングワークショップなど企画開催 [1987年より]、ダンスカンパニー山海塾 (舞踏) に参加 [1990年より]、京都西陣地区活性化実証の試みに地域と芸術の庭園・創作と生活の工場を提案、スタジオギャラリー「西陣ファクトリー Garden」を開設、代表として現在にいたる [1997年より]。光による表現、光を使つての空間時間構成についてを作業研究領域とし、現在、デザイナーばかりでなくライティングインプロヴァイザー/ライティシアン/コラボレーターとしても活動を行う。京都造形芸術大学、映像・舞台芸術学科非常勤講師。

料金

一般 前売 2,500円 当日 3,000円
学生・25歳以下 前売 2,000円 当日 2,500円
全自由席
学生・25歳以下の方は学生証か年齢の分かるものをチケットご購入時にご提示ください。
未就学児童のご入場はお断りいたします。

チケット取扱い

京都芸術劇場チケットセンター (平日10:00~17:00)
電話予約 tel.075-791-8240 メール予約 e-mail info@k-pac.org

□ 京都芸術劇場 (春秋座) (京都造形芸術大学内)

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116
tel.075-791-8240

JR「京都」駅 京阪「三条」駅 阪急「河原町」駅から
京都市バス5番「岩倉」行き乗車「上総町・京都造形
芸大前」下車 (京都駅から約50分)

市営地下鉄「丸太町」/「北大路」駅から京都市バス
204循環に乗車「上総町・京都造形芸大前」
下車 (約15分)

京阪電鉄「出町柳」駅から叡山電鉄に乗り換え
「茶山」駅下車 徒歩10分

※ 駐車場はございません。車・バイクでのご来場はご遠慮下さい。



高田和子 SANGEN SPACE 次回予告

第4回 2005年5月22日 (日) < 帰ってきた「糸」 >

ゲスト 西陽子 (箏) 田中悠美子 (太神) 石川高 (笙) 神田佳子 (打物)

伝説のバンド「糸」・・・1999年に高橋悠治プロデュース、高田和子の呼びかけで結成された和楽器プロジェクト。全員がコンチェルト・ソリストとしての経験を持ち、現代音楽はもとより、ロック、即興演奏など、ジャンルを超えた幅広いレパートリーには定評があります。